

平成 16 年度プリムラ利用状況 平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日

平成 16 年度プリムラ利用状況													
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
病児	18	19	14	13	11	6	13	19	26	7	9	19	174
一時保育	6	1	3	3	0	3	6	3	4	5	2	4	40
合計	24	20	17	16	11	9	19	22	30	12	11	23	214

4 月から「プリムラ」は 2 年目を迎えました。練馬区の委託補助を受け、昨年度とご利用方法が多少変わりました。

4 月 14 日は 1 日で練馬区補助対象者 4 名、自主預かりのお子様 1 名の 5 名で、久々に賑わいました。

9 月は残暑で小児科の疾患も少なく、利用が 9 名でしたが、見学者が増え、登録者が 9 月だけで 6 名ありました。

10 月は風邪が少しずつ増え、それに伴って利用児は多くなりました。利用者も関町近辺だけでなく、下石神井や豊玉地区からも来るようになりました。西東京市からもあります。一時保育児も増えています。

お母様の通院、兄弟の学校行事などが利用理由ですが、「なんとなく風邪気味で」という事もあります。

11 月は風邪が流行始め、利用児がおおくなりましたが、利用料金を考慮してか、保護者はぎりぎり 5 時間の半日料金を利用して、なんとかやりくりしています。利用児も 40℃の発熱、下痢などかなり重症感の子供が多い月でした。

12 月は発熱、下痢が多く病児が 4 人の日もあり、幼児は 1 対 2 保育では無理の事がありクリニックからの応援が多くなりました。特に一人感染性の子供がいるときはやはり部屋を分けての保育になり人手が必要になる。

1 月は例年になくインフルエンザの流行が少なく病児も多くなかった。半日利用で 2 日の利用など継続利用がある。見学、登録者が多い月で来年度からの保育園入園予定者が目立った。

2 月は例年より 3 週間遅れのインフルエンザの流行が始まり、クリニックは大忙しの日々でしたが、予想に反して、プリムラ利用児は少ない状況でした。インフルエンザの発症時の預かりはしていないと明記した為、インフルエンザでの預かり要請ありませんでした。

3 月は例年になくインフルエンザの流行が長引き、ウィルス性胃腸炎、所謂風邪症候群に

症状が混在するなか、水痘、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）が保育園、幼稚園で流行り、クリニックの状況に平行してプリムラ利用児も多くなりました。おたふく風邪の回復期、インフルエンザの回復期の感染症の病児もいましたが、比較的病状が重いお子様は少なくプリムラスタッフも安心してお預かりができました。

プリムラは4月から練馬区委託補助を受けて、再スタートです。4月からの準備もあり保育以外に雑務が多々ありましたが、平成17年度からは、広く多くの子供たちとお母様方に、ご利用しやすい保育室としての準備はほぼ整いました。

(H17. 4. 18)